~市民活動支援センター通信 第5 | 号~

市民活動・ボランティアだより

市民活動支援センターは、平成23年I0月に開設以来、市民活動団体の活動拠点として利用していただくほか、市民活動に関する情報提供や啓発に努めています。

この通信は、センターが主催する事業の紹介をはじめとした、様々な市民活動情報を 発信しています。



新年度スタート! アダプト・プログラムの活動を知ろう

市内には、アダプト・プログラムといって 道路や公園、河川などの清掃活動をして いる団体があります。

現在、39団体が登録しています。

THE

アダプトとは、英語で「~を養子にする」という意味です。市が管理している道路、公園、河川などの公共空間を養子にみたて、市民が里親となって養子の美化(清掃)を行い、行政が支援するという、環境美化活動です。

アダプト・プログラムに登録できる団体は、市内在住もしくは在勤の3名以上の方で構成される団体であり、市が管理する道路、公園、緑地、河川・水路などの清掃美化活動であれば、民間企業が登録することも可能※です。

※営利目的での活動は除きます。

支援の内容は、清掃美化活動に必要な物品(ゴミ袋等)の支給などがあります。

また、所沢市アダプト・プログラムに登録した団体を対象に、「公益社団法人食品容器環境美化協会」による助成制度のご案内もございます。(令和7年5月1日現在)

清掃ボランティアに関心のある方は、 ぜひ一度、ご検討ください。



市民の活動

- ・定期的な美化(清掃)活動
- ・活動範囲などの計画書の作成
- ・年度ごとの報告書の作成



市の支援

- ・活動に必要な物品の支給など
- 活動中の事故補償

(総合補償制度の対象と判定され た場合に適用されます。)

ご来場ありがとうございました 市民活動フェアを開催しました



2月21日~26日に市民活動フェア を開催しました。

参加団体数は、25団体。それぞれの 団体が工夫を凝らして掲示物を作成 し、説明スタッフとしても参加していただ きました。

その他にも地域づくり協議会や自治会・町内会、埼玉県西部地域振興センター、所沢市社会福祉協議会、市民活動支援センターのパネルも設置し、NPOやボランティアに関する相談コーナーや動画コーナーも設け、賑やかに開催しました。

<来場者の感想>

・沢山の活動があることを知りました。これから参加していきたいです。

- ·説明が分かりやすかったです。
- ・ボランティアの事だけでなく色々知 らなかった事が聞けました。
- <参加団体の感想>
- ・他団体との交流が出来ました。 漠然と市民活動とはどのようなもの なのか?という疑問から見に来られ た方がおられ、パネル説明員として 説明をして、「よくわかりました。協 力出来る事があるか考えてみま す。」とのお言葉をいただきました。
- ・他の団体の方と直接話すことがで き、色々と勉強になりました。





様々な団体が活躍しています! 登録団体を紹介します

所沢シニア世代

地域デビュー支援の会

シニア世代の社会参加の手伝いをする団体です。

高齢者の健康寿命を延ばし、活気あるまちづくりに貢献できないか、ということで、2014年(平成26年)に市民大学のメンバーで発足したのが始まりです。

これまで、行政の考え方を学ぶため、 出前講座を開催してきました。

発足してIO年ほど経ちますが、コロナの時には外向けの活動が難しくなり、内向けの活動が増える、という変化がありました。

コロナ前には、団体の分家であるチア ダンスチーム「スマイルパイレーツ」の 活動などで、若い方々との交流もおこ なってきました。

Q. 今後の課題は?

A. 定年が伸び、社会参加をするのが 遅れ、地域デビューの高齢化が進ん でいます。後継者問題もあります。

私たちの団体では、市政に関する理解を深めるため、引き続き出前講座を開催していきたいと考えています。

また、どうやって市民活動を広められるかも考えていきたいです。

▼「スマイルパイレーツ」のチアダンス



特定非営利活動法人

NPOいずみ

NPOいずみは、1998年(平成10年)に精神障害者の通所施設として発足しました。現在、日本の精神障害者(認知症も含む)が約615万人もいると言われており、身近なことであることを知ってほしいと考えています。

NPOいずみには、就労するための練習をする所、病院から退院して居場所として利用できる所、一人暮らしを練習する所などがあります。利用者の方が地域の中で生活することが出来るように支援しています。

